

PRESTIGE LINE  
YGD

## 歴史を創り続けるワールド・スタンダード。

現在主流となっているベース・ギターの原点として存在しながら、今なお頂点で響き続ける「BB」。ソリッド・モデルのハイクラス・スベックとなっている幾つもの手法は、もはやBBにおいては熟成を重ねた基本仕様である。5弦モデル、レフトハンド・モデルを含め、全4機種。至高のウッド・トーンは、ベーシストの誰もが抱く理想の響き。



**BB-5000**  
¥200,000 (税抜き)  
BODY: Alder + Maple + Mahogany  
NECK: Maple + Mahogany (Through Neck)  
FINGERBOARD: Striped Ebony 24F  
BRIDGE: BB-VG  
PICKUPS: SASB-V, SABB-V  
CONTROLS: 1 Volume, 1 Tone, 3P-Selector SW  
SCALE: 860mm  
HARDWARE: Gold  
FINISH: BL



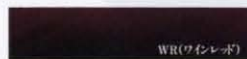
**BB-3000**  
¥180,000 (税抜き)  
BODY: Alder + Maple + Mahogany  
NECK: Maple + Mahogany (Through Neck)  
FINGERBOARD: Striped Ebony 21F  
BRIDGE: BB-II G  
PICKUPS: SASB-MK II, SABB-MK II  
CONTROLS: 1 Volume, 1 Tone, 3P-Selector SW  
SCALE: 860mm  
HARDWARE: Gold  
FINISH: BM, WR



**BB-X (BB10)**  
¥100,000 (税抜き)  
BODY: Alder  
NECK: Maple (Bolt on)  
FINGERBOARD: Rosewood 21F  
BRIDGE: BB-II G  
PICKUPS: SASB-MK II, SABB-MK II  
CONTROLS: 2 Volume, 1 Tone  
SCALE: 860mm  
HARDWARE: Gold  
FINISH: BL, WR  
■ LEFT HAND MODEL  
BB-XL (BB10L)  
¥118,000 (税抜き)  
FINISH: BL, WR

## COLOR

BL (ブラック) BM (ブラックメタリック)



■PLAYABILITY:後のリッド・ベースに大きな影響を与えた大形のピックアップが、プレイabilityのポイント。現在においてはオーソドックスなスタイルながら、その切り込みの無敵のなま、バランスの見事さは、無数のステージ・レコーディングを経験してきた実績が証明する。プロフェッショナルが特にシビアになるチューニングは、ダイキャスト製トルク調整機能付きベグによって対応(5000, X, XL)。スムーズで確実な操作によりチューニングを完璧に維持し、ペスト・プレイを引き出す。■SOUND:生音の鳴り、木の響きにおいて群を抜いている。フロント・ピックアップ、リア・ピックアップからの生み出される豊かな音響性は、時代に左右されない安定したグループを築きあげている。5000, 3000のアルダー・メイプル・マホガニーの3層構造ボディは、ベースに求められるウッド・トーンを極めた功績により評価が高い。■HARDWARE:シームに多弦ベースの可能性を開発し、そのスタイルを定着させた5弦モデル5000は、金属パーツのクオリティ特徴のひとつとなっている。4弦モデルをさらに越えるストリングス・コンプレッションを絶対の安定性で支えるため、ブリッジはまたぐ専用12弦すべての弦振動を余すところ無くボディへと伝達するクオリティも同時に実現している。ペダル・フラー・ボタン・ハブの採用は、楽器全体との質量・バランスを考慮した結果、構成部品ひとつひとつのクオリティの高さがBB5弦特有の卓越したサウンドを造っている。

# BB

このページの商品の価格は全てメーカー希望小売価格(税抜き価格)です。

PRESTIGE LINE  
YGD

## ロック・インストルメンツの神髄を極めるヤマハ・プレステージライン、YGD。

エレクトリック・ギターには、二つの在り方が存在するとヤマハは考える。一つは、時代の趨勢に敏感に反応し、マイナー・チェンジ、フルモデル・チェンジによって新技術を導入しながら最先端にその地位を求めるギター。そしてもう一つは、楽器の本質に求心し、不変の方法論を徹底的に磨き上げ、クオリティの熟成度を語るギター。ヤマハは、後者のギター・メソッドを独自のワールドワイド・ネットワークにより、完全にプロダクト・ライン化。最上質のポテンシャルを誇るプレステージ・ラインとして、YGDモデルをシーンに提示する。

## YGD Construction

ヤマハが蓄積している無数のノウハウを、開発機種と最高の状態でマッチングするように全体構築することがテーマとなっている。すでに十分な評価を得ているオリジナル・パーツにおいても、モデル・コンセプトとの完璧な融合のために、さらなる進化を求めてリファインされることも少なくない。DiMarzio, Warmothなど専門マニファクチュアラーによって造られたハードウェアにおいても、原則的にチューニングを施している。それら幾つかの優秀なハードウェアは、しかし開発時点においてはYGDモデルを想定していないというのがその理由。各マニファクチュアラーの技術の高さを評価しながらも、ヤマハが、そのハードウェアを組み上げるためには、当然、搭載機種との相性を最優先にする必要がある。ヤマハ・クラフトマンの手を通して、それらハードウェアはYGDクオリティに生まれ変わる。

## YGD Sound

ヤマハのリサーチ&ディベロップメント・セクションである「YAMAHA R&D TOKYO」に着信するワールドワイドなシーンの動向、そしてプロとのリレーションが音造りのベースとなっている。すべての情報は、「Central Guitar Design Division」にフィードバックされた後、さらに磨かれ、コンセプトとして定着。具体化作業へと進行する。Designed in U.S.A.モデルにおいては、アメリカ開発セクション「YGD U.S.A.」を訪れるアーティストとのミーティング結果が、サウンドの核となる。

## YGD Playability

YGDモデルにおいて、プレイabilityという概念は一つしか存在しない。「いかなる要素もプレイの妨げにならないこと」。しかし、ジョイント方式、ボディ形状によってその実現手法は多岐にわたる。また、避けられないと信じられていた、伝統的でありながら、演奏性能に悪影響を与えるアークアーは、まったく姿を変えることになった。クラフトマンの手腕が問われ、感覚的要因が大きいパフォーマンスにも関わらず、YGDモデルの演奏性能は数多くのプロフェッショナルから絶賛されている。

1991年末、ヤマハ・エレクトリックギター25周年記念モデルとして発表されたSG-25S、SG-25T、PACIFICA 25Tは、YGDコンセプトの一つの成果である。ロック・ギターが追い求めてきた理想は完璧に具現化され、YGDモデルが、ヤマハ・エレクトリックギター&ベースのフラッグシップであることはもとより、ロック・インストルメンツの90年代スタンダードとして存在することが証明された。ヤマハYGDモデル。熟成を深めることで進化を続ける。

## 25th ANNIVERSARY MODEL



**SG-25S**  
25周年記念モデルとして50本のみ限定製作。

**PACIFICA 25T**  
(Designed in U.S.A.)  
25周年記念モデルとして20本のみ限定製作。

**SG-25T**  
25周年記念モデルとして50本のみ限定製作。